

平成 29 年度

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価結果報告書

平成 30 年 11 月

川 越 市

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

国では、進展する人口減少問題に国を挙げて本格的に取り組んでいくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、全国の現状と将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5か年の国の施策の方向性を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市は、東京圏にありながらも、他の地方都市と同様、少子高齢化が進行する中で人口減少期を迎えることが予測されていることから、国の地方創生の動きを好機として活かし、人口減少問題及び経済規模の縮小等への対策に積極的に取り組むため、平成28年1月、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）を策定しました。

総合戦略のPDCAサイクル

総合戦略に位置付けた事業の実施にあたっては、効果的に推進するため、重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCAサイクルに基づき、適切に管理していくこととしています。

また、各施策の進捗状況や具体的な取組内容等に対する評価については、議会における意見や、川越市まち・ひと・しごと創生本部における学識経験者等の意見を聴きながら、毎年度必要な見直し等を行うこととしています。

このため、平成30年7月及び8月、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、総合戦略（Plan）に基づく平成29年度の実施事業について、進捗状況や具体的な取組内容（Do）について報告するとともに、産業界・大学・金融機関の外部有識者より意見を聴きながら、評価（Check）を行いました。

平成29年度事業の総括

総合戦略は、平成27年度を初年度とする5年間を計画期間としています。計画期間のうちの3年目を終え、各事業については概ね目標通りに進捗していますが、一方で遅れが生じている事業もいくつか見られる状況となっています。

計画期間が平成30年度を含め残り2年となっている中、目標通り進捗している事業については引き続き推進を図ることで事業目的の達成を目指すとともに、遅れが生じている事業については、その原因を分析し、課題を踏まえた上で今後の方針を定め、事業の推進にあたることとします。

事業に対しては、個別及び全般に係るご意見を頂いたことから、これらのご意見も十分に参考としながら事業を進めていくこととします。

また、各事業の進捗状況を踏まえ、KPIや事業スケジュールなどについて、今後関係課と連携しながら適切に見直しを行っていくこととします。

今回の評価を踏まえた今後の取組としては、上記の内容を踏まえつつ、概ね現状の計画に基づき事業を推進することとします。

平成30年度 川越市まち・ひと・しごと創生本部会議

開催日 出席者
第1回 平成30年7月13日 本部構成員:出席者 10名、欠席者 1名

第2回 平成30年8月7日 本部構成員:出席者 11名
外部有識者:出席者 8名

埼玉縣信用金庫 川越支店 支店長	安藤 英 美
埼玉りそな銀行 川越支店 支店長	伊勢 弘 茂
東京国際大学商学部 教授	伊藤 匡 美
いるま野農業協同組合 川越地域理事代表	小倉 元 司
武蔵野銀行 川越支店 支店長	桑原 秀 恵
川越商工会議所 事務局長	鹿倉 隆
尚美学園大学総合政策学部 教授	眞下 英 二
東洋大学理工学部 教授	吉田 善 一

(五十音順、敬称略)

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

戦 略

プロジェクト

戦略1

～川越でしごとをする～
地域の特性を活かし、
若者を引きつける働く場をつくる

プロジェクト1

しごと暮らし 川越
川越産業の活性化と若者の地元就業

プロジェクト2

ものづくり長屋 川越
文化創造拠点の形成と創業支援

プロジェクト3

健康食レストラン 川越
川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

戦略2

～川越で育てる～
安心して出産・子育てができる
環境をつくる

プロジェクト4

縁結び 川越
若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

プロジェクト5

すくすく かわごえ
子育て世代を支える安心の拠点づくり

戦略3

～川越を活かす～
地域の価値を高め、
魅力あるまちをつくる

プロジェクト6

蔵人ファンド 川越
「蔵の町 川越」を活かし、支援するファンドの創設

戦略4

～川越を遊ぶ・感じる～
より広域に、より魅力の高い
交流の機会をつくる

プロジェクト7

キテミル KAWAGOE
川越を訪れるきっかけづくり

プロジェクト8

蔵 in ガルテン 川越
グリーンツーリズム拠点の整備

政策目標

平成31年時点で	実績値	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
総人口350,000人以上を維持		349,378	350,223	351,654	352,433	
年少人口43,000人台、		45,537	45,324	45,172	44,801	
生産年齢人口213,000人台を維持		219,062	217,272	216,566	215,997	

(単位:人)

プロジェクト1 しごと暮らし 川越

主な実施事業

1 - 3 市内企業への販路拡大支援〔地方創生推進交付金事業〕

(1) 地域のしごと総合ポータルサイト運営

- ・平成28年度に構築した地域のしごと総合ポータルサイト「川越きらり企業NAVI」を引き続き運営。
- ・平成29年度は、新たに新規企業11件、学生による企業取材記事6件、KOEDO E-PRO 表彰企業取材記事を3件掲載し、合計74社掲載。
- ・取組を効果的に進めるため、市、県、大学・高校、関連企業等からなる「地域のしごと応援協議会」を立ち上げ、会議を実施。

(2) 販路拡大セミナー

- ・川越商工会議所の事業の一環として外国人観光客対応セミナー、経営計画作成支援セミナーを実施し、その経費を補助した。

(3) 川越ものづくりブランド認定企業への販路開拓支援

- ・KOEDO E-PRO 認定企業13社に、認定製品・技術PR補助金を交付。



川越きらり企業NAVI トップページ
と2次元バーコード

進捗に遅れの見られる事業

1 - 1 若者に対する川越就業のための情報提供支援

- ・大学生を対象としたセミナーについて、大学独自の就職支援メニューと重複するため、市独自のメニューとなるよう検討及び調整が必要。

1 - 2 多様な働き方の支援

- ・子育て中の方を対象に柔軟な勤務体系を導入するなど、多様な働き方を推進する事業者の認定・各種支援策について、県の支援制度と重複するため、市独自の支援策についての検討が必要。

1 - 4 既存産業に対する環境整備

- ・融資制度について、申込件数の減少が著しいことから、中小企業者にとって有効な資金調達手段となるよう、制度見直しの検討や周知を行う必要がある。緑地率の緩和は2件実績があり、目標通りに進捗している。

プロジェクト2 ものづくり長屋 川越

主な実施事業

2 - 1 旧川越織物市場の整備

(1) 部材修復設計

- ・平成28年度の現況による実施設計の結果に基づき、設計図書をより明確にするため、不明な箇所を解体しながら調査・設計を行う部材修復設計を実施した。解体調査により、建物の痕跡等の情報を数多く収集することで、創建当初の形式やその後の建物の変遷をより詳細に把握することができた。本施設は市の文化財に指定されており、保存と活用を両立させていくことが課題となる。

(2) 運営管理者検討

- ・旧川越織物市場を若手アーティストやクリエイターを対象とした文化創造インキュベーション施設として活用するため、施設管理候補者等の抽出と条件整理を実施し、必要となる人材や備品を把握するとともに、運営管理計画(案)を作成。運営にあたっては、施設入居者への創業支援を行うマネージャーの役割が重要になることから、行政がマネージャーの選定に関与できる仕組みを検討する必要がある。また、入居者を集めるための広報活動を継続的に進めていく必要がある。



完成イメージ図



現場での検証の様子

プロジェクト3 健康食レストラン 川越

主な実施事業

3 - 1 健康食レストラン川越の設置

(1) 事業予定地の絞り込み

- ・平成28年度の設置検討支援業務委託の結果を踏まえ、新たに事業候補地を加えた中で比較検討を行い、事業予定地を川越市元町2丁目の市有施設「元町休憩所」に絞り込んだ。

(2) 設置基本計画（案）の作成

- ・健康食レストランのコンセプト、事業予定地、導入機能など基本的事項について整理し、今後の事業推進の基本的な指針となるレストラン設置に係る基本計画（案）を、業務委託による助言や関係課との調整を経て作成。



元町休憩所

<事業予定地 元町休憩所の概要>

所在地：川越市元町2丁目3番地9

建 物：木造平屋建て

延べ床面積188.40㎡

敷 地：登記面積468.62㎡

建築年：平成27年

進捗に遅れ

- ・事業予定地の選定に時間を要したため、今後速やかに設置基本計画の策定、レストランの設計、運営主体の選定及び調整に取り組む必要がある。
- ・高品質で信頼される川越産農産物のブランド化を進めるため、レストランでの健康食の提供にとどまらず、川越産農産物を提供する市内の飲食店や店舗などを巻き込み、6次産業化も視野に入れたプロジェクトとしてのソフト事業展開を検討していく必要がある。

プロジェクト4 縁結び 川越

主な実施事業

4 - 1 縁結びの支援〔地方創生推進交付金事業〕

(1) よるよるまっぷの作成

- ・滞在時間が短く、一番街に一点集中している人の流れについて、夜まで滞在してもらい、様々なエリアへ足を運んでもらうため、縁結び風鈴の開催時期と合わせ、地元商店街と連携して、夜に立ち寄れるお店が一目で分かるマップを作成した。



よるよるまっぷ

4 - 2 出会いの仕掛けづくり〔地方創生推進交付金事業〕

(1) 小江戸川越なぞとき縁結びの開催

- ・若者を呼び込むとともに、周遊性を高め、消費活動を行ってもらうため、閑散期である冬季に、実際にまちを歩きながら本市の魅力に触れられる周遊型イベント「小江戸川越なぞとき縁結び」を開催した。



小江戸川越なぞとき縁結び概要

< 事業概要 >

開催期間：平成29年12月16日～平成30年2月18日

参加人数：3,512名

- ・参加者の約90%が40歳代以下
- ・参加者の73%が参加時間3時間以上

プロジェクト5 すくすく かわごえ

主な実施事業

5 - 1 子育て安心施設の整備

(1) 基本設計の策定

- ・本川越駅付近（中原町2丁目地内）に建設予定の、子育て支援や各種相談機能を併せ持つ子育て安心施設について、構造や建築設備等を整理するための基本設計を策定。

(2) 管理運営方法の検討

- ・施設の管理運営に係る検討を実施。



完成イメージ図

< 事業概要 >

建設地：中原町2丁目地内

導入機能：・保育機能

（送迎保育ステーション、一時預かり）

・子育て支援施設

・乳幼児相談、産前・産後相談の場

・健康教育・健康相談の場

・地域包括支援センター

進捗に遅れ

- ・導入機能の検討等に時間を要したため、当初の予定に遅れが生じており、今後、施設の管理運営方法のほか、事業を運営する事業所の選定や利用ニーズについて、さらに検討を進める必要がある。

プロジェクト6 ^{くろうど}蔵人ファンド 川越

主な実施事業

6 - 2 くらびとファンディングの設立〔地方創生推進交付金事業〕

(1) くらびとファンディングポータルサイトの運営

- ・平成28年度に構築した、市内で実施されるクラウドファンディング企画の情報を集約し、発信する「くらびとファンディングポータルサイト」を補助事業として引き続き運営。

(2) クラウドファンディング手数料補助

- ・クラウドファンディング企画の立案者が、クラウドファンディング事業者に支払う手数料の一部を補助する取組を実施。

(3) クラウドファンディング講演会の開催

- ・クラウドファンディング企画の掘り起しのため、クラウドファンディング事業者による講演会を開催。

平成29年度実施されたクラウドファンディング企画



【プロジェクト概要】

市内にある眠っていた長屋をリノベーションして、集まる人が楽しめる場を作る

目標金額： 600,000円
支援額： 1,042,000円
支援者数： 122人



【プロジェクト概要】

農薬や化学肥料を一切使わない有機稲作農法のため、井戸を掘り水を安定的に確保する

目標金額： 700,000円
支援額： 724,000円
支援者数： 56人



【プロジェクト概要】

江戸時代の循環農業が今も息づく「武蔵野」の輝きを広く伝えるための映画を製作する

目標金額： 3,000,000円
支援額： 3,280,000円
支援者数： 148人

進捗に遅れの見られる事業

6 - 3 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築

- ・本市に適した流通スキーム構築のため、関係機関との調整や検証に時間を要する。ファンド等の資金調達や総合調整を行う人材、また、伝統構法の技能を有する職人の育成についても検討が必要。

プロジェクト7 キテミル KAWAGOE

主な実施事業

7 - 3 フィルムコミッション事業〔地方創生推進交付金事業〕

(1) キテミル川越ショートフィルム大賞の実施

- ・市内の魅力を広く PR するため、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」と連携し、第1回目授賞式及び第2回目の作品募集・選考等を実施。第1回目ノミネート作品は、川越スカラ座において上映会を開催し、市民へのPRも図った。

(2) ロケーションライブラリの拡充

- ・市内の魅力あるロケーション候補地を広く周知するため、映像等の情報を備えたロケーションライブラリについて、新たに25か所の候補地の情報を追加。



第2回キテミル川越ショートフィルム大賞
受賞作品「Some Day」

進捗に遅れの見られる事業

7 - 1 「おもてなし川越」の創設〔地方創生推進交付金事業〕

- ・組織、事業概要の検討に時間を要したため遅れが生じているが、現在は関係者による設立組織が設置され、今年度中の設立を目標に取り組んでいる。

7 - 4 「日本遺産」による魅力発信事業

- ・申請したが認定されなかったため、その要因を文化庁から聴取し、今後について検討する必要がある。

プロジェクト8 蔵 in ガルテン 川越

主な実施事業

8 - 1 グリーンツーリズム拠点の整備

- (1) 「蔵 in ガルテン川越」グリーンツーリズム拠点整備計画の策定
 - ・「蔵 in ガルテン川越」への導入機能として、体験事業、教育・学習、レクリエーション、講習・研修などを整理し、実施事業及び整備項目を定めた整備計画を策定。
- (2) 市民農園利用者への意見聴取
 - ・市民農園整備に向けて、利用者アンケート及び意見聴取を実施。
- (3) 農業体験事業の拡大
 - ・新たに枝豆収穫体験、トウモロコシ収穫体験を実施。また試験的に都内の小学生による田植え・稲刈り体験を実施。



農業ふれあいセンター

<主な整備内容>

- ・農業ふれあいセンター改修整備
- ・バーベキュー施設整備
- ・体験農園拡張整備
- ・市民農園拡張整備
- ・キャンプスペース整備



等

戦略1 ～川越でしごとをする～ 地域の特性を活かし、若者を引きつける働く場をつくる

数値目標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市内事業所従業者数(人/年)	想定値		-	127,523	127,523	127,523	127,523
	実績値	127,523	-	136,202	141,082		
市内総生産額(百万円/年)	想定値		1,087,269	1,107,240	1,127,211	1,147,182	1,167,154
	実績値	1,067,298	1,133,468	1,092,161	1,182,713		

上記数値は、各年度の前々年度に調査した値で、国・県が公表している最新の値を掲載

プロジェクト1 しごと暮らし川越 川越産業の活性化と若者の地元就業

具体的施策							
施策名		進捗状況				今後の方向性	
1. 若者に対する川越就業のための情報提供支援		目標を下回った				抜本的な改善検討	
2. 多様な働き方の支援		目標を下回った				改善し継続	
3. 市内企業への販路拡大支援		ほぼ目標通り				改善し継続	
4. 既存産業に対する環境整備		目標を下回った				改善し継続	
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市が主催する市内高校・大学への就職応援講座の実施数(件/年)	想定値		4	7	12	16	20
	実績値	4	4	7	7		
創業支援の利用者数(人/年)	想定値		50	75	100	125	150
	実績値	25	87	99	134		

主な意見

- ・県内の中小企業では人手不足が深刻であり、大学に対して、県や企業から様々な形で就職情報や事業企画が持ち込まれる。川越市も早い時期から大学全体を巻き込んで、中小企業、地域の企業の魅力を伝えるような実効性のある企画を立てて実行してほしい。
- ・川越は全国でも有数の魅力を持つ市であるので、川越で働くことの意味が学生に伝わるような取り組みをしてほしい。これから働く若者を川越につなぎとめる仕組みが重要である。
- ・創業支援に係る事業では、実際に創業した人数までフォローアップすることが重要である。

プロジェクト2 ものづくり長屋川越 文化創造拠点の形成と創業支援

具体的施策							
施策名		進捗状況				今後の方向性	
1. 旧川越織物市場の整備		ほぼ目標通り				継続	
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
文化創造インキュベーション施設入居率(%)	想定値		-	-	-	-	100
	実績値	-	-	-	-		
立門前線の歩行者・自転車通行量(人)	想定値		3,915	3,915	3,915	3,915	4,500
	実績値	3,915	3,200	3,696	3,802		

主な意見

- ・ものづくり長屋川越で、入居者が事業化する際は、制度融資の金利優遇だけでは効果も低いので、クラウドファンディングなどで創業支援を行ってもよいのではないかと。

プロジェクト3 健康食レストラン 川越 川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.健康食レストラン川越の設置		目標を下回った			改善し継続		
2.川越産農産物のブランド化事業		ほぼ目標通り			継続		
3.川越伝統野菜の再興		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
農産物直売所の総販売額 (百万円/年)	想定値		628	645	662	679	700
	実績値	611	667	688	705		
川越産農産物を使ったレシピの 累計開発数(件)	想定値		5	20	40	50	50
	実績値	0	5	110	110		

主な意見

・ブランド化を図るには、品質管理による信頼性の向上により、その農産物の価値を高めていくような取り組みが必要である。

戦略2 ~川越で育てる~ 安心して出産・子育てができる環境をつくる

数値目標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子育て世帯の転入数(世帯/年)	想定値		1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
	実績値	1,015	1,069	1,120	1,055		

プロジェクト4 縁結び 川越 若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.縁結びの支援		ほぼ目標通り			継続		
2.出会いの仕掛けづくり		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
デートマップに掲載されたスポットの 累計数(件)	想定値		17	27	37	47	60
	実績値	17	17	52	100		
縁結び関連の事業・イベントの 実施数(件/年)	想定値		3	7	11	15	20
	実績値	2	3	7	6		

主な意見

・最近では浴衣を着て氷川神社に向かう方が多いが、道が狭くて危ない。神社へ向かう安全な道というのは確保できないのか。
 ・京都では川沿いに桜並木が続いているが、川越でも新河岸川沿いに桜並木があり、こうしたものをうまく活用できないのか。
 ・「縁結び 川越」は、縁結びから子どもを産み育てる、しごとにつながっていくというストーリーだと思う。川越に住んでもらいたいという趣旨で、縁結びを子育て、しごとにつなげる宣伝の場としていくことが重要である。

プロジェクト5 すくすく かわごえ 子育て世代を支える安心の拠点づくり

具体的施策							
施策名			進捗状況			今後の方向性	
1. 子育て安心施設の整備			目標を下回った			継続	
重要業績評価指標 (KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
保育園待機児童数(人/年)	想定値		60	46	32	18	0
	実績値	74	67	64	73		
地域子育て支援拠点事業の利用者数(人/年)	想定値		93,251	96,718	100,265	104,002	108,105
	実績値	69,361	94,507	98,200	94,469		

戦略3 ~川越を活かす~ 地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

数値目標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
定住意向率(%)	想定値		-	-	-	-	90.0
	実績値	88.7	-	-	-		
空き家率(%)	想定値		-	-	-	-	11.0
	実績値	11.0	-	-	-		

上記数値に係る次回調査は、平成30年度実施予定

プロジェクト6 蔵人ファンド川越 「蔵の町川越」を活かし、支援するファンドの創設

具体的施策							
施策名			進捗状況			今後の方向性	
1. 蔵まちづくり再生基金の設立			ほぼ目標通り			継続	
2. くらびとファンディングの設立			ほぼ目標通り			継続	
3. 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築			目標を下回った			継続	
重要業績評価指標 (KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
蔵まちづくり再生基金の活用累計数(件)	想定値		-	-	-	-	1
	実績値	-	-	-	-		
くらびとファンディング活用累計数(件)	想定値		-	1	4	7	10
	実績値	-	-	0	3		

戦略4 ～川越を遊ぶ・感じる～ より広域に、より魅力の高い交流の機会をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
観光客数(人/年)	想定値	6,664,500	6,750,000	6,860,000	6,970,000	7,080,000	
	実績値	6,579,000	6,645,000	7,040,000	6,628,000		
外国人観光客数の割合(%)	想定値		1.3	1.5	1.7	1.9	2.2
	実績値	1.1	1.7	2.4	3.0		

プロジェクト7 キテミル KAWAGOE 川越を訪れるきっかけづくり

具体的施策							
施策名		進捗状況				今後の方向性	
1.「おもてなし川越」の創設		目標を下回った				改善し継続	
2.コンベンションの誘致		ほぼ目標通り				継続	
3.フィルムコミッション事業		ほぼ目標通り				継続	
4.「日本遺産」による魅力発信事業		目標を下回った				抜本的な改善検討	
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ロケ地として撮影された件数(件/年)	想定値		66	75	84	93	105
	実績値	57	33	12	39		
観光客の平均消費額(円)	想定値		4,233	4,300	4,600	4,800	5,000
	実績値	4,166	4,073	4,045	4,204		

主な意見

・フィルムコミッション事業の映画作品については、例えば川越駅の待ち合わせ場所などで流すとともに、ロケ地になった観光名所をPRすると効果的であると思う。ぜひ有効活用してほしい。

プロジェクト8 蔵 in ガルテン 川越 グリーンツーリズム拠点の整備

具体的施策							
施策名		進捗状況				今後の方向性	
1.グリーンツーリズム拠点の整備		ほぼ目標通り				継続	
2.伊佐沼公園など周辺施設との連携		ほぼ目標通り				継続	
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
農業体験事業参加者数(人/年)	想定値		1,108	1,205	1,302	1,399	1,500
	実績値	1,011	965	1,403	1,628		

その他の主な意見

・生産年齢人口を呼び込むには、ものづくり関連企業をいかに活性化するか、ということ。地域の中核企業を育てると、関連企業も発展していくので、製造業についても注力してもらいたい。
 ・生産年齢人口を維持していくということであれば、企業誘致の取組について県と連携を図っていくとよいのではないかと。



川越市シンボルマーク